

応用物理学会東北支部【主催】講演会

日時：2020年1月25日（土）15:30～16:30

会場：東北大学大学院工学研究科青葉記念会館5階 大会議室501

講演者：大草 芳江 氏（NPO法人 natural science理事，有限会社FIELD AND NETWORK取締役）

講演題目：『知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて』

講演要旨：

私は「科学教育による地域づくり」を志して2005年、東北大学大学院在学中に起業して以来、科学の“結果”だけでなく“プロセス”を教育につなげる活動を大学・研究機関や企業等と連携しながら実践してきた。私たち1団体からスタートした『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ』も、応用物理学会東北支部をはじめとする多様な主体からの理解と協力を得て、現在では来場者1万人を超える全国最大級の科学イベントに成長する等、14年間「科学教育による地域づくり」を実践してきた。

しかし一方で民間の立場でできないことの危機感も、活動をすればするほど強く感じるようになった。それは、自らのアイデアを形にして新たな価値を創造する力が今後ますます重要になる中、日本の教育の仕組みが根本的に変わらなければ、いずれ科学技術創造立国の根本が崩れ、立ち行かなくなるのではないかという強い危機感である。子どもたちが生まれ持つ知的好奇心を引き出し、創造力を育む科学教育を誰もが受けることができる仕組みをつくるには、政策を立案できる議員という立場から変えていくしかないことを痛感し、2回の地方議会議員選挙に立候補した。当日は、これまで科学教育活動を実践してきた経験と、その中でなぜ被選挙権の行使が必要と考えるか、その問題意識をお話させていただきたい。